

2023 年 度 事 業 報 告 書

特定非営利活動法人 ACROSS

I 事業期間

2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

II 事業の成果

2011年からACROSSの中心事業として位置づけてきたカンボジア教育支援事業は13年目を迎えました。継続している「日本・カンボジア未来交流プログラム～カンボジア学生招致プログラム」は、私たちが学習支援を続けてきたBatheumay高校の卒業生である女子大学生を日本に招致し、日本の生徒・学生と交流を行うプログラムです。今年度も、2名の女子大学生を日本に招致し、北九州、京都、大阪、東京を訪れ、日本の中高生、大学生との交流を実施することができました。また、今年度も事前にオンライン交流会 JCOE (Japan-Cambodia Online Exchange Program) を実施し、カンボジア学生が実際に訪れる中学校、高校の代表生徒と交流することで、実際の訪問がより円滑になり、親密な関係を築くことができました。同年代の生徒・学生同士での英語を使つてのコミュニケーションは、カンボジア・日本両国の生徒・学生にとって、意義のある国際交流となり、国際理解教育の推進に寄与する取り組みとなりました。同時に、これまで作ってきたカンボジアとのネットワークをより強め、深める企画であったと確信しています。

教育研修の分野でも、異文化体験が英語教師としての成長にどう関わるのか、異文化対応力とは何かに関する研修を企画し、教育の未来を考える機会を持っています。2024年2月には、「カンボジア教育学会 (CamTESOL 2024)」に参加して研修の成果を発表し、海外の教育関係者とともに、若者の異文化理解や国際理解のための教育について、意見交換をすることができました。

2024年8月にニュージーランド・ツアーを実施。現地の学校での日本文化紹介授業や現地在住の日本人女性へのインタビューなど、異文化理解、異文化対応力をテーマに研修をしました。マオリや他の国からの移住者も多く暮らす多文化社会のニュージーランドの様子を自身の目で見ることができ、参加者自身が考えた内容で現地の子どもたちに日本文化を紹介し、学校の生徒・教師と交流する機会を持ちました。ニュージーランドに移住し長年生活している日本人女性へのインタビューでは、日本とニュージーランドの文化や習慣の違い、英語習得の過程、家族のことなど、様々な話を聞くことができました。ツアー後は、報告集を作成し、学校訪問やインタビュー活動の経験を会員間で共有し、ツアーの成果を振り返りました。ニュージーランド・ツアーで得た知見を、私たちの今後の様々なプログラム、活動へ活かし、教育の場に還元していきたいです。

Ⅲ 事業の実施状況

★特定非営利活動に係る事業

(1) 教育支援事業

[事業名] 「カンボジア子ども学習応援プログラム ～ ACROSS Scholarship」

[内 容] カンボジアの学校（Batheuay High School）の生徒への奨学金支援

[実施 場所] カンボジア、大阪府内・東京都内の貸会議室等

[実施 日時] 2023 年 10 月～2024 年 6 月

[事業の対象] カンボジアでの教育支援に関心のある個人・団体、カンボジアの英語教育に関わる個人・団体、カンボジア Batheuay High School の生徒・教員

[収 益] 0 円

[費 用] 337,700 円

[内容等詳細]

- ・ 2024 年 2 月 26 日に ACROSS の代表団が Batheuay High School での行われた奨学金贈呈式に参列した。生徒たちが支援金を受け取る様子を直接見ることができ、望まれている支援であることを改めて確認した。
- ・ 奨学金により、より多くの生徒が学習に意欲をもって取り組むことができるようになってきており、カンボジア国内で優秀な成績を収める生徒も出てきている。
- ・ バティ高校の教師、生徒とのコミュニケーションを取ることで、互いの信頼関係を深める機会となった。
- ・ 「日本・カンボジア未来交流プログラム ～ カンボジア学生招致プログラム」でこれまでに来日した学生は、いずれも Batheuay High School 在学中にこの奨学金を受けていた生徒であり、「日本招致プログラム」と「奨学金プログラム」は、ACROSS 若者の未来交流事業の車の両輪としての役割を担っている。

(2) 教育改革提言事業

[事業名] 教育研修事業

[内 容] 教育や英語教育に関わる教員や関心のある個人への研修会等

[実施 場所] 大阪府内、京都府内、東京都内の貸し会議室、オンライン等

[実施 日時] 2023 年 7 月～2024 年 6 月（継続中）

[事業の対象] 英語教育や国際理解教育に関心のある個人

[収 益] 777,030 円

[費 用] 700,634 円

[内容等詳細]

- ・ 月 1 回程度、英語・教育をテーマに、特に 2023 年 8 月のニュージーランド・ツアーに向けての学習や研修を行った。

- ・ 2024 年 1 月の研修会では、ニュージーランド・ツアーの研修の成果を発表し、CamTEOL 2024 での発表に向けての改善点を共有した。
- ・ 来日したカンボジア学生の文化発表、また学校での交流プログラムの準備を行い、現在の教育の現状や今後の方向性について学ぶ機会となった。

[事業名] 「CamTESOL 2024 カンファレンスツアー」

[内 容] 「CamTESOL 2024」での発表とその準備、教育施設見学、フィールドワーク

[実施 場所] カンボジア、大阪府内の貸会議室等

[実施 日時] 2023 年 8 月～2024 年 3 月

[事業の対象] 教育支援に関心のある日本の英語教育に携わる個人、ツアー参加者 8 名

[収 益] 1,003,680 円

[費 用] 1,003,680 円

[内容等詳細]

- ・ 2024 年 2 月 25 日に、カンボジア教育学会（CamTESOL 2024）で、ニュージーランド在住の日本人女性の、異文化適応や英語習得に関するインタビュー内容の分析を基に、計 3 本の研究発表を行った。
- ・ カンボジアでは、支援先である Batheuy High School を訪問し、同校で行われた奨学金贈呈式にも参列した。
- ・ Batheuy High School では、日本の大学生とカンボジアの生徒との文化交流も行った。（折紙、書道体験）
- ・ カンボジア在住理事やその協力者と、来年度の教育支援事業の打ち合わせを行った。
- ・ 2024 年 4 月に、カンボジア訪問の報告を行い、他の会員とも体験を共有する機会を持った。

[事業名] 「ニュージーランド・ツアー」

[内 容] ニュージーランドの小学校・高校・大学での日本文化紹介授業、授業見学、生徒・学生・教員との交流、ニュージーランド在住の日本人女性へのインタビュー、フィールドワーク等

[実施 場所] ニュージーランド（ウェリントン）、大阪府内の貸会議室等

[実施 日時] 2022 年 3 月～2024 年 2 月（ツアーは 2023 年 8 月 6 日～12 日）

[事業の対象] ニュージーランドの教育、多文化教育、異文化理解に関心のある個人・団体
ツアー参加者 14 名

[収 益] 2,584,078 円

[費 用] 2,584,078 円

[内容等詳細]

- ・ ウェリントンの 3 つの学校（小・中学校、高校、大学）で、日本文化紹介の授業を行い、教師、生徒の交流の機会を持った。
- ・ ニュージーランドで暮らす日本人女性へのインタビューを実施し、英語習得や異文化対応力に研修した。
- ・ 学校訪問については 2023 年 9 月に報告集を作成、インタビューについては 2024 年 1 月に研究成果をまとめた。

(3) 教育ネットワーク事業

[事業名] 「JCOE 2023 (Japan-Cambodia Online Exchange Program2023)

日本・カンボジア未来交流プログラム～オンライン交流会プログラム 2023」

[内 容] カンボジアの大学生と日本の中学生・高校生との事前交流をオンラインで実施

[実施 場所] カンボジア、北九州市内の会議室、大阪府内の会議室、東京都内と大阪府内の中学校・高校 計3校

[実施 日時] 2023 年 7 月～2023 年 12 月（オンライン交流会は 2023 年 12 月 17 日）

[事業の対象] カンボジアでの教育支援に関心のある個人・団体、カンボジアの英語教育に関わる個人・団体、カンボジア Batheuy High School の生徒・教員・卒業生

[収 益] 「日本・カンボジア未来交流プログラム ～ カンボジア学生招致プログラム」に含む

[費 用] 「日本・カンボジア未来交流プログラム ～ カンボジア学生招致プログラム」に含む

[内容等詳細]

- ・ 2024 年 1 月に来日するカンボジア学生と訪問予定の日本の学校の中高生との事前交流として、2023 年 12 月 17 日にオンラインで、交流プログラムを実施した。
- ・ 自己紹介、学校紹介、文化紹介を行い、1 月の学校訪問・交流プログラムをスムーズに、より顔の見える交流にすることができた。
- ・ 英語の原稿を読むのではなく、生徒たちが英語で即興の受け答えができるよう工夫した。
- ・ 同年代の生徒・学生同士での英語を使つてのコミュニケーションは、カンボジア・日本両国の生徒・学生にとって、意義のある国際交流となり、国際理解教育の推進に寄与した。

[事業名] 「日本・カンボジア未来交流プログラム ～ カンボジア学生招致プログラム」

[内 容] カンボジアの大学生の日本招致と日本の生徒・学生との交流

[実施 場所] カンボジア、北九州市内の会議室、京都府内の会議室、
北九州市の大学、大阪府・東京都の中学校・高校・大学

[実施 日時] 2023 年 7 月～2024 年 1 月（来日期間は 2024 年 1 月 10 日～20 日）

[事業の対象] カンボジアでの教育支援に関心のある個人・団体、カンボジアの英語教育に関わる個人・団体、カンボジア Batheuy High School の生徒・教員・卒業生

[収 益] 181,800 円

[費 用] 927,418 円

[内容等詳細]

- ・ Batheuy High School の卒業生で、現在大学生の女性 2 名を日本に招き、日本の生徒・学生と交流する機会を持った。
- ・ カンボジア女子大学生は、日本人学生とゲストハウスで宿泊、または大学生・高校生宅にホームステイし、日本の中学校・高校・大学を訪問して、カンボジアに関するミニ授業を行い、日本の生徒のカンボジアへの理解を深めた。
- ・ 同年代の生徒・学生同士での英語を使つてのコミュニケーションは、日本の生徒・学生にとって、意義のある国際交流となり、国際理解教育の推進に寄与した。

- ・2024 年 2 月、日本に招致した大学生 2 名が、母校である Batheuy High School の生徒に対し、日本訪問の報告会を行い、カンボジアの生徒の日本への理解を深める機会となった。
- ・2024 年 2 月の CamTESOL ツアーの際に、会員が日本に招致した 2 名のカンボジア大学生の自宅を訪問した。日本招聘大学生が育ってきた環境、家庭状況の理解を深め、本プログラムの意義を再確認する機会となった。
- ・「JCOE 2023 (Japan-Cambodia Online Exchange Program 2023) 日本・カンボジア未来交流プログラム～オンライン交流会プログラム 2023」を、この日本招致の事前交流として位置づけ、大阪万博協会の助成金を得て、実施した。

★その他の事業：

(1) 教材開発・制作の企画、請負及び販売事業

実施せず

(2) 講演、研修などの企画、請負及び主催事業

実施せず

(3) 人材派遣事業

実施せず

IV 社員総会の開催状況

第 24 回 通常総会

日時：2023 年 9 月 10 日（日）13：25 ～ 15：25

場所：TATSMI 福島ビル 103 号室

（大阪府大阪市福島区福島 5 丁目 6-31）

社員総数：15 名

出席社員：15 名（出席者 13 名、委任状による参加者 2 名）

議案：第 1 号議案 2022 年度事業報告承認の件

第 2 号議案 2022 年度収支決算承認の件、並びに監査報告

第 3 号議案 定款変更の件

第 4 号議案 小口債券返還の件

第 5 号議案 役員選任の件

報告事項 2023 年度事業方針、並びに予算について

審議結果：全ての議案が可決した。

V 理事会の開催状況

第 71 回理事会

日時：2023 年 9 月 10 日（日）10：00 ～ 12：00

場所：TATSMI 福島ビル 103 号室

（大阪府大阪市福島区福島 5 丁目 6-31）

理事総数：17 名

出席理事：14 名（出席者 12 名、オンライン参加 2 名）

案件：第 1 号議案 2022 年度活動決算承認の件、並びに監査報告

第 2 号議案 役員選任の件

報告事項 2023 年度事業方針について

審議結果：全ての議案が可決した。